

寄せられたエピソードなど

(出席者)

○内田洋輔 (作業療法学科)

実習がほんとにきつくて苦い思い出がたくさんです。今、実習指導をしているとあの頃のことを思い出します。きつかったけど、良い事を教えてもらったんだな、と思います。

○田中二郎 (作業療法学科)

仕事を辞めこの道を選びました。失敗できない想いでビクビクし高浜に通っていました。もちろん実習先で逃げ出したこともあります。そんな時、田原先生始め教務の先生方にはげましてもらい、なんとか卒業、国家試験合格、現在に至ります。本当に感謝。私の原点です。

○杉浦由美 (作業療法学科)

これからも高浜らしさを残し、続けていけるようにがんばりましょう。

(欠席者)

○鈴木明子

光と風が樹木の葉を楽しげに踊らせています。皆様お元気で他人助けの良いお仕事を精一杯されておられることでしょう。私の最も「鼻の高い」のは教え子さん達です。

皆さんを代表して、一足早く「園遊会」に招かれて参加しました。2017年の秋のことです。この時の記事は北大の境先生がOT協会誌に書いて下さいました。私個人も、母校の同窓会誌に書いて(どんな所から、どのような方法で選ばれるか、その日の服装は・・・など)報告致しました。

これから同窓会の方々に“お招き”がありますようにお祈りしています。

私の毎日は、かつて背骨を4か所痛め、次いでhip jointを骨折し(手術を拒否)、「イテテ」の俣で生活しています。そのために外出が制限され「皆様にお会いしたい」と思いながら、家で「皆様、お元気で！」と心の中で叫んでいます。

京都の家にいますので、お立ち寄り下さい。同窓会誌のコピーをお送りします。次に行かれる方にその日の近いことを祈りつつ、お元気でご活躍を！

○加藤千恵子 (介護福祉学科)

①オーストラリア研修をさせてもらい、マルタ島の先生より患者さんが入られると、介護計画→治療→退院→家でのリハビリまで計画して、介護士、作業療法士が家まで行って指導できているシステムがうらやましかった。

②提案については、先生方、同窓会役員のみなさんと協力者の卒業生のみなさん本当にありがとうございました。

③今回の役員会のお茶代にきもちとって下さい。みなさんによろしく。

○立松康徳（介護福祉学科）

自分の代が 1 期生であることはとても貴重に感じます。入学式、卒業式の気持ちの変化に学んだことを感じさせてくれました。卒業して 20 年、福祉や自分のまわりの変化についていくのが一生懸命です。

○小島恵（介護福祉学科）

高浜の卒業生と一緒に働いています！卒業して 13 年、今も介護職ひとすじに頑張っています！！

○柴田律子（介護福祉学科）

最後にもかかわらず参加できず残念です。先生方の近況が気になります。

○高村小夕里（介護福祉学科）

かけがえのない仲間と出会うことができ、その後の人生にも重要な 1 つとなりました。感謝の気持ちでいっぱいです。

○鈴木俊文（介護福祉学科）

当日仕事のため参加できません。今回の発展的な合併が具体的な特色につながることを期待しています！

○三部由布子（作業療法学科）

親友といつも外のベンチでランチを食べ、その後えびせんべい（1F にあった店）を毎日 1 袋買って食べてた。たのしかったなあ。

○大村衡史（作業療法学科）

これからも仲間とつながる場があれば良いと思います。